

# CASBEE® 京都-新築

## 標準システム

■使用評価マニュアル：CASBEE京都-新築（2015年版）|使用評価ソフト：CASBEE京都-新築2015（v.1.0）

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)京都市南区ホテル	階数	地上6F
建設地	京都市南区東九条石田町38-1他	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、第二種住居地域、準防火地域	平均居住人員	150人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2030年9月 0.0	評価の実施日	2017年9月26日
敷地面積	4,709㎡	作成者	高橋道義
建築面積	1,535㎡	確認日	
延床面積	6,686㎡	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

#### Q 環境品質

##### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

##### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.8

##### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.5

#### LR 環境負荷低減性

##### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.5

##### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

##### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.0

### 3 設計上の配慮事項

総合		その他
住居系地域である為に周辺の環境を配慮した建物配置計画、お客様の満足度を得られる必要最小限の性能を有する設備計画をとし、環境に配慮した建物計画とする。		
Q1 室内環境 遮音性の確保、化学汚染物質を発生しない材料の使用、客室窓には複層ガラスを使用	Q2 サービス性能 各客室でのインターネット使用環境の確保	Q3 室外環境(敷地内) 道路沿い、レストランの庭に植栽を設けた。
LR1 エネルギー 特に無し	LR2 資源・マテリアル 特に無し	LR3 敷地外環境 1階レストランの排気を4階屋上から排出。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される